

もくじ

国語科「図書館たんていだん」図書館のルール	1
国語科「図書館たんていだん」本の分類のしかた	2
国語科「図書館たんていだん」地図作り	3
国語科「図書館たんていだん」たしかめよう	4
国語科「国語辞典を使おう」①	5
国語科「国語辞典を使おう」②	6
国語科「はじめて知ったことを知らせよう」	7
国語科「食べ物のひみつをおしえます」	8
国語科「ことわざ・故事成語」	11
国語科「詩のくふうを楽しもう」	12
国語科「モチモチの木」	13
社会科「道具とくらしのうつりかわり」	15
総合「調べ学習の仕方を知ろう」	
国語科「科学読み物での調べ方」	16
総合「調べ学習の仕方を知ろう」①調べたいことを見つける・・	17
総合「調べ学習の仕方を知ろう」②「問い」を作る	19
総合「調べ学習の仕方を知ろう」③調べる・記録する	20
総合「調べ学習の仕方を知ろう」④整理する	22

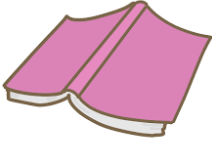
【ふろく】

読書かんそう文の書き方	23
-------------------	----

☆としょかんの ルール

●本の^{ほん}あつかいかたで、ただしいものに○、まちがっているものに×をかきましょう。

●としょかんで してよいことに ○ だめなことに × をかきましょう。

	ひろげたまま ふせる		かばんに いれて もちはこぶ		ゆびさきで ひっかける
					
	やぶる		やぶれた ところを せろてーぶで なおす		らくがきを する
					

	はしる		ほん 本を かりる そうだんする		おおきな こえで はなす
					
	しずかに ほん 本を よむ		ただしい ばしょに ほん 本を かえす		つくえの うえを きれいに する
					

- 図書館の本は、^{としょかん} ^{ほん} ないようごとに、^{ばんごう} ^わ 番号で分けてなされています。どんな^{ほん} ^{しら} ないようの本があるか、調べましょう。

^{ぶんるい} 分類	ないよう
0類	
1類	
2類	
3類	
4類	
5類	
6類	
7類	
8類	
9類	

- 4類の本をくわしく見てみましょう。

410 _____

420 ^{ぶつり}
物理

430 ^{かがく}
化学

440 _____

450 ^{ちきゅう}
地球

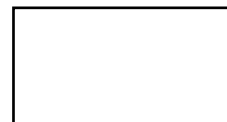
460 ^{せいぶつ}
生物

470 _____

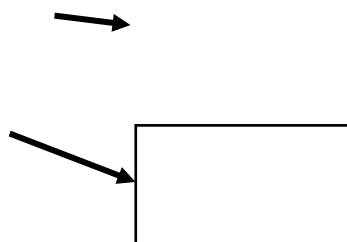
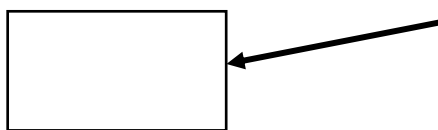
480 _____

490 ^{からだ}
からだ

- 本のつくりを知りましょう。

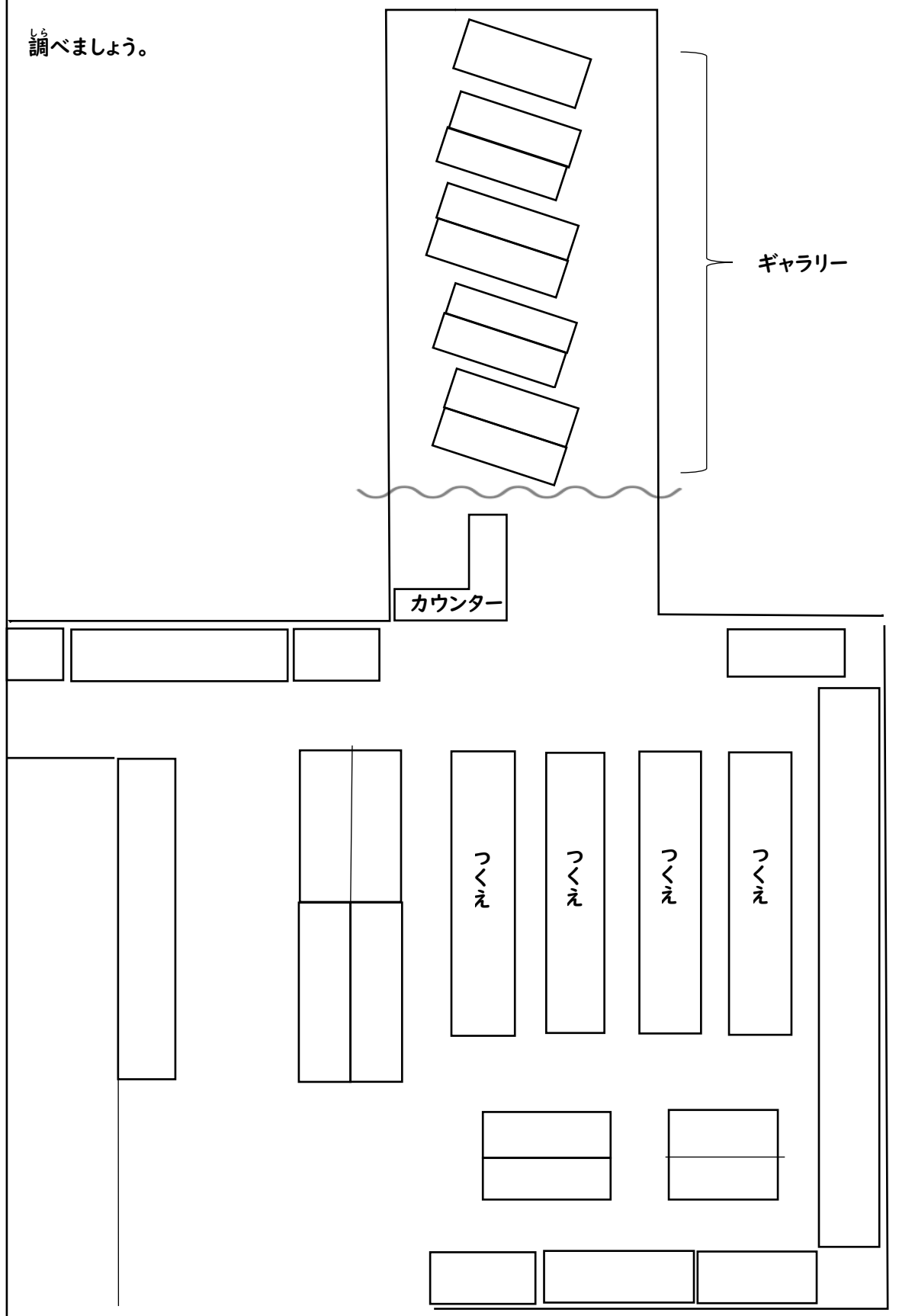


やじるしの^{ぶぶん}部分の^{なまえ}名前はなんでしょう。



● ひぐらし^{しょうがっこうがっこうとしょかん}小学校学校図書館の地図を作り、どの^{しゅるい}たなに、どんな種類の本があるかを

しらべましょう。



●つぎの 本を さがしてみましょう。

ラベルの記号と 本の だい名を かきましょう。

	ラベルの 記号	本の だい名
詩の本		
サッカーの ルールが わかる本		
草花のそだ て方を調べ られる本		
昔の道具 について調 べられる本		
ことわざの 本		
はたらく 自動車につ いて調べら れる本		

ほっかいどう 北海道について調べられる本		
--	-------------------------------------	--

☆国語辞典は、言葉の意味、言葉の使い方、漢字でのあらわし方を知りたいときに

使います。

● 国
典に
くるじ
に、
に書
しよ

1	() えき	2	() さとう	語 辞 出 て ゆ ん 番 号 き ま う。
	() おる		() すいか	
	() あめ		() せなか	
	() うみ		() しごと	
	() いぬ		() そうじ	

見出し語は五十音じゅんにならんでいます。

3	() あか	4	() やま
	() あお		() やたい
	() あさ		() やめる

せいおん あと だくおん だくおん あと はんだくおん じゅん
清音の後に濁音(゜)、濁音の後に半濁音(゜)の順でなっています。

5	() ひざ	6	() ひる
	() ビザ		() ビル
	() ピザ		() ピカソ

のばす音「ー」は、「あ・い・う・え・お」におきかえられて、なっています。

7	() ゲーム	8	() ほおばる
	() ゴール		() ボール
	() カード		() ほおん

小さく書く字(ようおん・そくおん)は、大きく書く字の後になっています。

9	() びよういん (美容院)	10	() ひよう (表)
	() びよういん (病院)		() ひよう (費用)

11	() しっけ (湿気)	12	() いつか
	() しっけ		() いっか (一家)

- 文の中で、いろいろな形にかえる言葉があります。国語辞典にのっている形を
○でかこみましょう。

1	かかない かきます かく かくもの かけば かこう
2	ふかかろう ふかかった ふかくなる ふかい ふかい海 ふかければ
3	しずかだろう しずかだった しずかで しずかに しずか しずかな夜 しずかならば
4	はいらない はいります はいる はいれ はいれば
5	あかく あかい あかければ あかかった

- 同じ音でも、意味がちがう言葉(どうおんいぎご)があります。

国語辞典で意味を調べましょう。

	漢字	ことばの意味
① あついふろに入る		
② あつい日がつづく		
③ あつい氷がはった		

- 国語辞典で調べて、□に正しい漢字を書きましょう。

①

朝はやくおきる。

走るのがはやい。

②

じんこう^{こきゅう}呼吸をする。

じんこう^{みつど}密度が高い。

●調べるための本を見てみましょう。それぞれのとくちようを書きましょう。

図鑑	
科学読み物 などの本	

●知りたいことがあるときは、「目次」や「さくいん」を使うと、目的のページを早く見つけることができます。それぞれの□に当てはまる言葉を書きましょう。

目次……本の□にある。書かれている順に見出しを
 ならべ、はじまりのページをしめしている。
 さくいん……ふつう、本の□の方にある。本の中に

出てくる言葉や物事をぬき出して、
 順に整理し、どのページにあるかをしめしている。

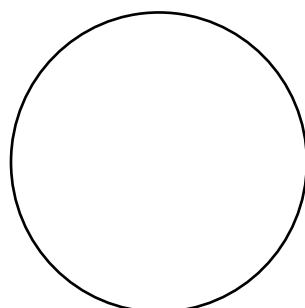
●本をえらんで読みましょう。本で知ったことをメモしましょう。

本の題名

作者

はじめて知ったこと

図で整理する



●組み立てを考えて下書きをしよう。

はじめ	中	終わり

●下書きを読み返して できたことに○をつけましょう。
はじめ・中・終わりに分けた() せつぞく語を使った()
一つの段落に一つの工夫を書いている() ご字がない()
文の終わり方がそろっている()
習った漢字を使っている()

●学習のふりかえり

ことわざ・故事成語

絵

意味

●ことわざ・故事成語の意味、由来や使い方を調べましょう。

くふうを見つけた詩

詩の題名						
作者						
本の題名						
出版社						
ページ						

	読んだ日	本のだい名	おすすめ
1	/	花さき山	○ ○ ○ ○ ○
2	/	半日村	○ ○ ○ ○ ○
3	/	ソメコとオニ	○ ○ ○ ○ ○
4	/	かみなりむすめ	○ ○ ○ ○ ○
5	/	ひばりの矢	○ ○ ○ ○ ○
6	/	火の鳥	○ ○ ○ ○ ○
7	/	猫山	○ ○ ○ ○ ○
8	/	ユとムとヒ	○ ○ ○ ○ ○
9	/	ふき	○ ○ ○ ○ ○
10	/	三コ	○ ○ ○ ○ ○
11	/	八郎	○ ○ ○ ○ ○
12	/	ひさの星	○ ○ ○ ○ ○
13	/		○ ○ ○ ○ ○
14	/		○ ○ ○ ○ ○

● 斎藤隆介の本を読みましょう。

●読んだ本の中から、好きな本をえらび、感想を書きましょう。

本のだい名 『
』

感想

--

題名

人物紹介

絵 作

名前

●昔の道具について調べ、絵カードにまとめてみましょう。

道具の 名前	
年だい	
使い方 しくみ 絵	
感想	

総合科「調べ学習の仕方を知ろう」

国語科「科学読み物での調べ方」教下 P50奥付をたしかめよう 月 日()

☆調べる時に使った本やパンフレットを

参考文献として書くとき、奥付を見ます。

調べた本の情報がのっています。

①書名 … 本の題名

②発行年 … 本がつくられた日

③監修・作者・筆者 … 本をかけた人

④発行所 … 出版社(本を作った会社)

たべものはかせになろう! ①

米・麦からつくるたべもの ②

2010年3月 第1刷発行 ③

監修 岩谷孝佑 ③

発行所 株式会社〇〇社 ④

〒〇〇〇-〇〇〇〇

東京都〇〇区〇-〇

●下の奥付から、参考文献にのせる情報を書きましょう。

よみきかせ いきもの しやしんえほん 3
うまれたよ! アリ

発行日 2011年3月31日 第1刷発行
発行日 2017年4月30日 第8刷発行

写真 山口 進
構成・文 小杉みのり
発行者 岩崎夏海
発行所 株式会社岩崎書店
東京都文京区水道1-9-2 〒112-0005
電話 03-3812-9131 (営業)
03-3813-5526 (編集)
振替 00170-5-96822

印刷・製本 凸版印刷株式会社

NDC480 32P 290×250

書名

発行年

年 月 日

監修

作者

筆者

発行所

出版年(発行年)は、初版と第〇版の
両方ある場合は、第〇版を、
第〇刷とある場合は、第1刷・初刷(最
初に印刷された時)を記録します。

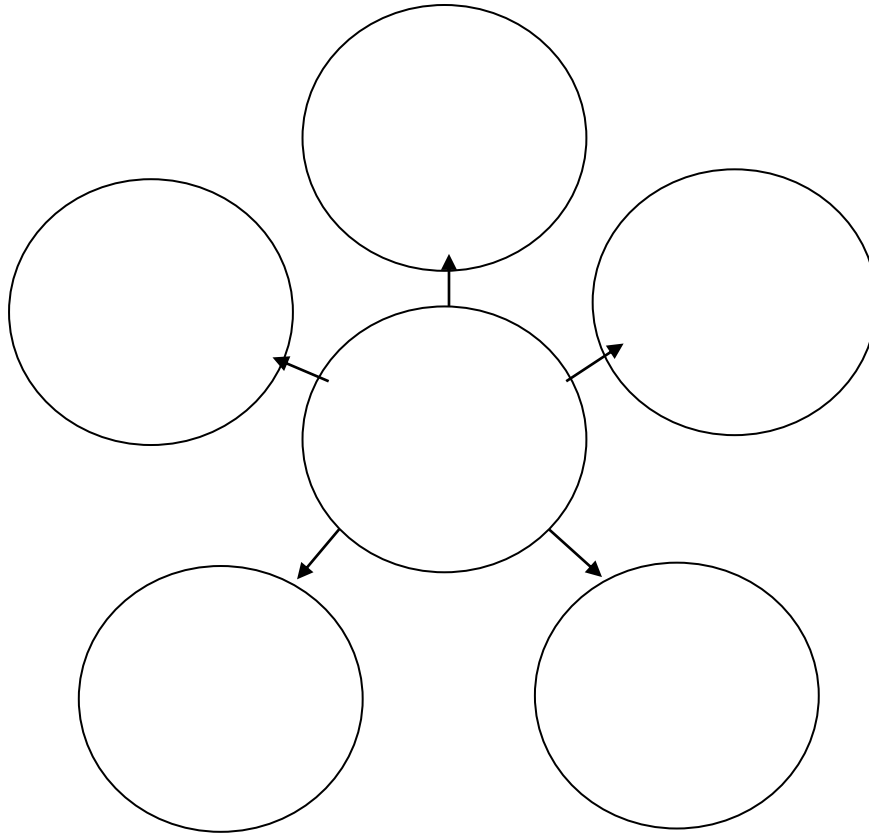
●えらんだ本の奥付をたしかめましょ
う。

書名	
発行年	年 月 日
監修・作者・筆者	
発行所	

ねん くみ ^な名まえ

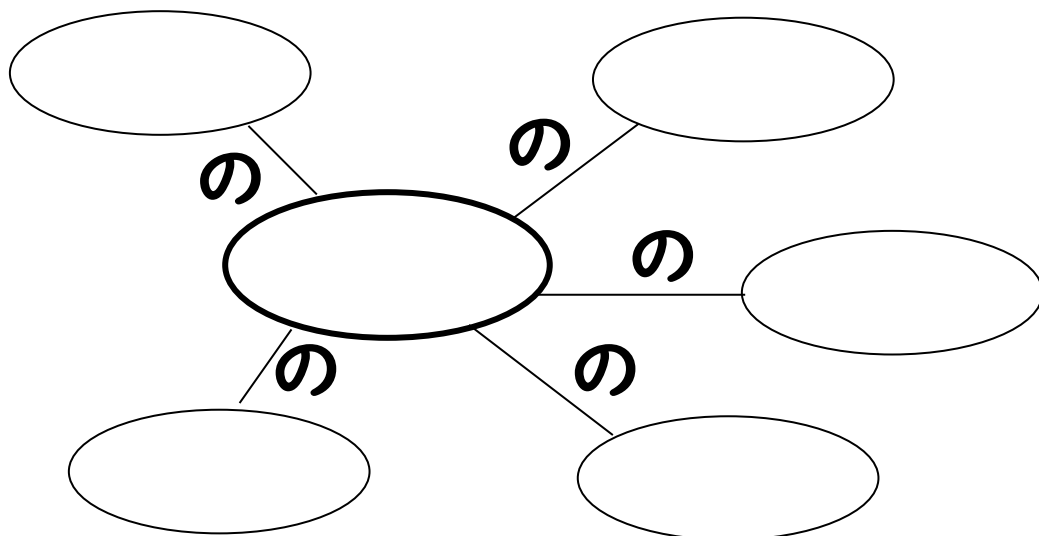
太陽チャート

真ん中にテーマ(調べたいこと)を書き、まわりの円に、くわしく知りたいことを書きましょう。



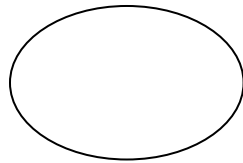
「の」チャート

真ん中に大きなテーマを書き、「の」につづくものをむすびつけて書きましょう。



ウェビングマップ

真ん中に興味があることを書きます。関係する言葉、思いついた言葉をできるだけたくさん書き、線でつなぎましょう。



総合科「調べ方の仕方を知ろう」②問いを作る

月 日 ()

- 調べたいことが決まったら、「問い」の形にしましょう。自分の予想も考えてみましょう。

「問い」は、知りたいことに、次のような言葉を組み合わせると、できあがります。

- どのような(方法・仕組み)
- どんな(形・せいしつ・はたらきなど)
- いつ・どこで(時・場所)

<れい>

チョウのいる場所はどこか。

[illegible]

「答え」を見つけるための調べ方を考えましょう。調べてもわからないことがあるときは、調べ方を見直しましょう。

●これからしてみたい調べ方に○をつけましょう。

- ☐本で調べる ☐インターネットで調べる ☐新聞で調べる
☐かんさつする ☐見学する ☐インタビューする
☐手紙で書く ☐電子メールで書く

参考資料リストの番号

☆情報カードの書き方(本)

知りたいこと	リストNo	ページ	自分の名前
	情報がのっていた		

わかったことの

引用するとき（国語科教上 P90）

調べたことを記ろく、ほうこくするときには、

本などに書いてある言葉と自分の言葉とを、

くべつしなければいけません。

ほかの人の言葉を、自分の文章や話の中で

使うことを、といいます。

元の文章をそのままぬき出す。
うつした部分は「」をつける

「にた音や同じ音の言葉を使って
文を作るのが、しゃれです。」

【例】

小野恭靖「言葉であそぼう」
48 ページ

参考資料リストを作る（本で調べた場合）

1つの資料から複数のカードを書く場合には、そのリストにつけた資料の番号を情報カード
に書くと便利です。

【情報カード】

カメはいくつたまごをうむの? リストNo 1 19 ページ ひぐらしたろう

クサガメは夏になると池などの水べ近くの土をほって、5、6このたまごをうむ。

カメはどこでくらしている? リストNo 1 19 ページ ひぐらしたろう

池や川などの水の中

カメはなにを食べるの? リストNo 2 26 ページ ひぐらしたろう

水めんにおちてきたこん虫や、小さい魚

カメに歯はあるの? リストNo 1 18 ページ ひぐらしたろう

歯はないが、するどいくちばしでかみつく

せかいにカメはどのくらいいるの? リストNo 3 52 ページ ひぐらしたろう

やく300しゅるい

カメのこうらほなにでできているの? リストNo 3 50 ページ ひぐらしたろう

人間のつめとにたものでできている。

【資料リスト】

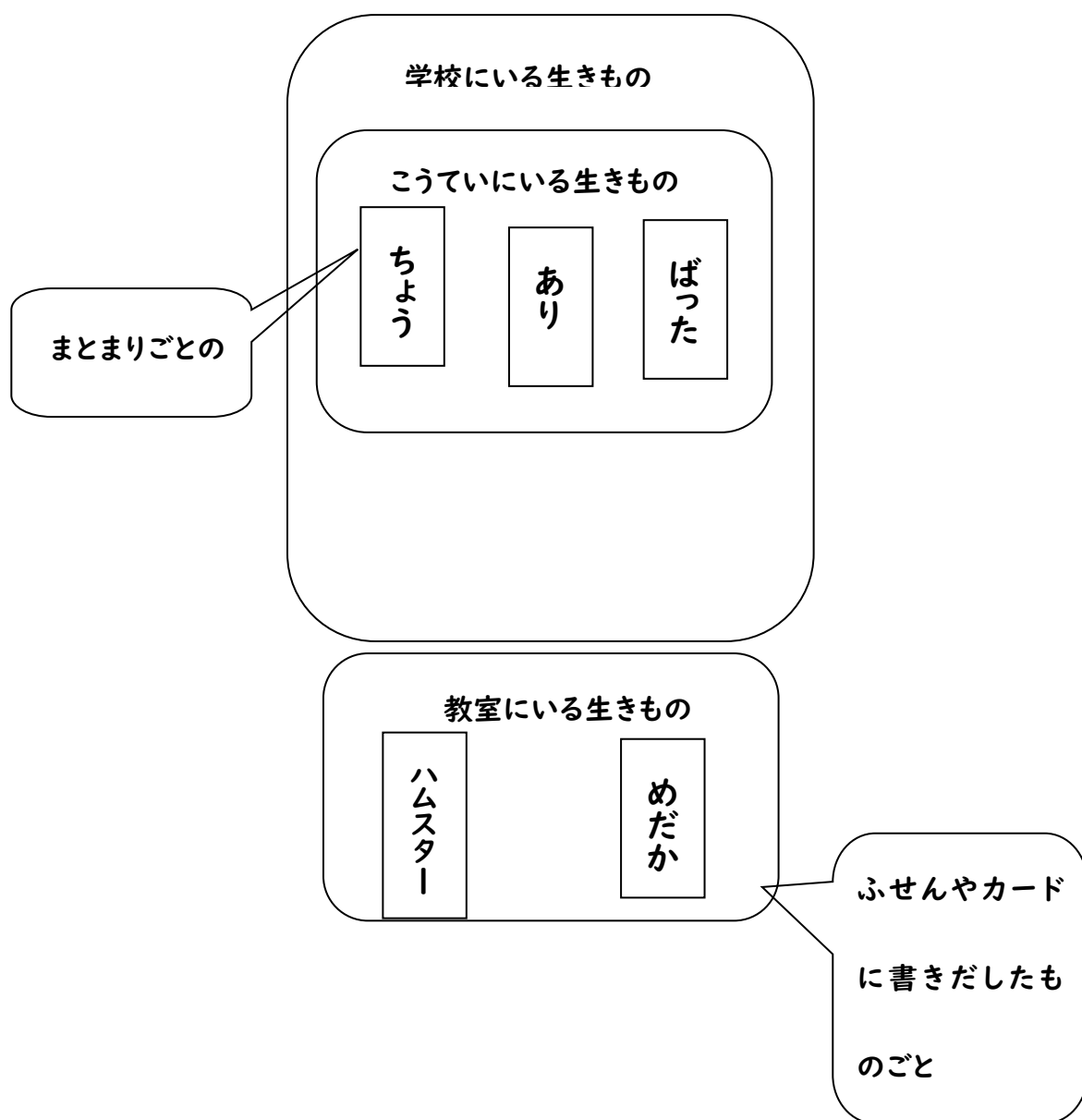
No.	書名	著者名	出版社	出版年
1	体験を広げるこどものずかん⑩ みずべのいきもの	宮武頼夫	ひかりのくに	1991
2	そだてて、しらべる 日本の生きものずかん⑥ カメ	矢部隆	集英社	2005
3	なぜ?のずかん 動物	土屋徹	学研プラス	2015

整理する方法はさまざまあります。

次の方法を参考にしましょう。(国語科教上 P9)

分ける

たくさんのものごとは、なかまに分けると、せいりすることができます。



くらべる

くらべると、ものごとの同じところやちがうところを、せいりすることができます。

どんな点を	食べもの			あそび			
	・夏 みかん	・な す	・す いか	・虫 とり	・海	・プ ール	夏
	・み かん	・は くさい	・り んご	・か るた	・な わとび	・雪 あそび	冬

くらべる

読書かんそう文

年 組

1 えらんだ本のだい名



2 どんな おはなしですか。一文で書きましょう。

○だれが、なにを する どんな おはなし。

れい「○○という男の子が、きつねと友だちになる、楽しいおはなし。」

○どこで(だれに)、どんなことがおこる どんな おはなし。

れい「学校みんなが、きつねになってしまふ、ハラハラするおはなし。」

3 心のこったことや中心になることを、一言でかきましょう。

れい「きつね」・「友だち」・「へんしんする」・「ハラハラする」

--

4

「中」にかきたいことを えらぶ 年 組

①「心が うごかされたところ」に、ふせんをはりながら よみましょう。

○たのしかった・かなしかった・どきどきした・わくわくした・すごいなどおもった

○じぶんとにている・じぶんとちがう

はじめ	中Ⅰ	中Ⅱ	おわり まとめ	むすび
120字 (6行)	420字 (21行)	420字 (21行)	120字 160行 (6行) 8行	80字 120字 (4行) 6行
○イメージ・かんがえ ○体けん	心がうづいたところ じぶんの こと ○おもったこと・かんがえたこと ○体けん	心がうづいたところ じぶんの こと ○おもったこと・かんがえたこと ○体けん	この本ぜんたいの かんそう ○さくしやがつたえたいこと ○「はじめ」でかいたことを、 もう一かい つたえてもよい。	じぶんの こと ○このおはなしから まなんだこと ○これから していきたいこと ○なりたいじぶん
た。けれども・・・。」 「わたしは○○がだいすきです。な	「～という ばめんがあります。」 「～という できごとがありました。 た。」 「～とおもいました。なぜな ら・・・。」 「～するなんて、とても～です。」		「このおはなしは、・・・。」 「さくしやの△△さんは、よむ人に ～をつたえたかったのだとおもい ます。」	「この本は、わたしに～をおしえて くれました。」 「これから わたしも、～します。」 「こんど～なときには、～したいと

年

く
み

むすび		おわり		中 2		中 1		はじめ	
80 120字 (4 6行)		120 160行 (6 8行)		420 (21行)		420 (21行)		120 (6行)	

《参考文献》

- 『新版 図書館・学びかたノート 小学校中学年用』
全国学校図書館協議会 2008
- 『図書館マナブック』 荒川区教育委員会指導室 2011
- 『学校図書館 学びかた指導のワークシート』
全国学校図書館協議会 2008
- 『三日どくしょノート 3年』 荒川区立三日小学校 2022